

チリ・軍事クーデター 50 年 を記念する講演と歌の集い

2023年9月10日(日) 14:00~16:45

サンホールマツシロ(長野市松代町) 参加費 1,000円

講演 Roberta Bacic ロベルタ・バチチ (Conflict Textiles <アルピジェラの国際コレクション> 創設者、アルピジェラ・キュレーター、人権研究者、チリ生まれ、北アイルランド在住)

酒井朋子(京都大学人文科学研究所 准教授)

伊藤千尋(ジャーナリスト、「九条の会」世話人)

歌による交流 ピアノ・歌 竹松えり

「人生(命)よありがとう」「おいで一緒に」「ベンセレーモス」「不屈の民」



1973年9月11日のサンチアゴ
Norma Torres 作 1990年ごろ



チリの軍事クーデターから50周年を記念して、日本の長野県にある大島博光記念館で直接お会いできることを大変光栄に思います。

1973年9月11日は、より公正な社会の建設をめざした社会的政治的計画と夢を打ち砕きました。独裁政権が抑圧しようとした物語を織り、作る方法として針の抜き指しを視覚化することは非常に効果的です。アルピジェラリストは声なき者の声、声を上げる者の声になりました。彼らは自分自身の状況の主演になりました。忘れられたり犠牲者の役に甘んじる代わりに、声を上げるようになったのです。

私たちは今日、私たちの旅を祝うためにここにいます。私たちは、異文化間の架け橋、理解、友情、コラボレーションなどを築いてきました。私たちは足跡を残しています。他の人が跡をたどり、私たちが強化し深化するための足跡を。

皆様にとっても私たちに、非常に生産的な10年間でした。私はそれらを蜘蛛の巣に例えます。つながり、支え、控えめで、しっかりしていて、強い。アルピジェラ、詩、歌と非常によく似ています。お祝いすることがたくさんあります!

私たちはここで、歌手でアルピジェラリストの先駆者であるビオレータ・パラを思い起こします。彼女は有名な歌「人生(命)よ ありがとう!」を書いて歌いました。彼女と一緒に歌いましょう。

人生よ ありがとう
こんなにたくさんものを私にくれて
私に星のような瞳をくれた それを開くと
黒と白をはっきりと見分けられる

(ロベルタ・バチチさんからのメッセージ抜粋)

サンホールマツシロ 長野市松代町松代 163-9 TEL 026-278-8622

大島博光記念館アルピジェラ展 2023
チリ軍事クーデター 50 年
—— 1973.9.11 を忘れない
Never Forget September 11, 1973
2023年5月~12月28日 10:00~16:00
(月・火休館) 入場無料

併設展 没後50年 パブロ・ネルーダ展
愛の詩人として世界中の人に読まれたパブロ・ネルーダはアジェンダ人民連合政府を守るために詩を武器にして闘い、クーデターの暴虐の中で倒れました。ネルーダの波乱の生涯と豊かな作品世界に光をあてます。